

## 環境省による漂流・漂着・海底ごみ問題に関する主な調査等

平成 24 年 3 月  
環 境 省

### I 平成 23 年度の主な調査

#### ○漂着ごみ状況把握調査

海岸管理者、民間団体及び市町村等の関係主体による清掃活動や、環境省事業等による海岸毎の漂着ごみの回収量等の情報を活用して、全国的な漂着ごみの現存量及びその分布を推定。加えて、全国から代表的地域を選択して漂着ごみのモニタリングを行い、季節あたりの漂着量を把握することで、全国的・経年的な漂着ごみの状況把握を実施。

#### ○漂流・漂着・海底ごみ原因究明・流出状況分析調査

主要漂着ごみ（漁具、流木、生活系ごみ）を対象に、それぞれ漂着ごみの種類ごとにモデル調査を実施することで効果的な発生抑制対策を検証するとともに、国際的発生源対策のための情報収集を実施。

また、東日本大震災により流出した災害廃棄物の総量推計や、漂流予測等の調査を実施。

#### ○漂流・海底ごみ実態把握調査

漂流・海底ごみについて、今後の対策を検討すべく、都道府県及び漁業関係者等へのヒアリング等を通じて被害実態等の基礎的な情報を収集するとともに、全国から代表的地域を選定して漂流・海底ごみの目視・回収調査を実施。

#### ○海岸漂着物処理協力対策調査

海岸漂着物に関する国際的な対応を進めるため、日本海側を中心に毎冬漂着が見られる廃ポリタンクの現状を把握・整理することで、正確に廃ポリタンクの漂着状況等を把握し、適切に対応していただくための方法を検討。

また、発生抑制対策の重要性を認識してもらうためのパンフレットを作成。

### II その他の国際的な取組

#### ○多国間協力

日本、中国、韓国、ロシアによる北西太平洋地域海行動計画（NOWPAP）の枠組みにおいて、海洋ごみに関する協力体制を構築。各国の取組を共有するためのワークショップを清掃活動と併せて開催。

また、日中韓三カ国環境大臣会合（TEMM）においても、漂流・漂着ごみの問題を取り上げ、三カ国で更なる協力が必要との認識を共有。平成 22 年 5 月

の第12回TEMMにおいて、NOWPAPの枠組を通じた漂流・漂着ごみの発生源対策への協力強化に合意し、同取組を含む三カ国共同行動計画を採択。平成23年4月の第13回TEMMにおいても引き続き協力強化を合意。

## ○ 二国間協力

海外から廃ポリタンクや医療系廃棄物などの大量漂着が認められた場合、関係地方公共団体等と連携して漂着状況の把握及び注意喚起を実施。また、外務省と連携し、関係国に対して原因究明及び対策実施を要請。